

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社

代表者名 代表取締役社長 坂田 明

(JASDAQ・コード1717)

問合せ先

役職・氏名 常務取締役経営企画本部長 大島和男

電話 03-5211-0066

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	3,200	120	0	0	円 銭 —
今回修正（B）	3,316	85	23	13	1.21
増減額（B－A）	116	△35	23	13	
増 減 率	3.6%	△29.2%	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成24年3月期第2四半期）	1,468	△63	△68	△56	△5.08

2. 修正の理由

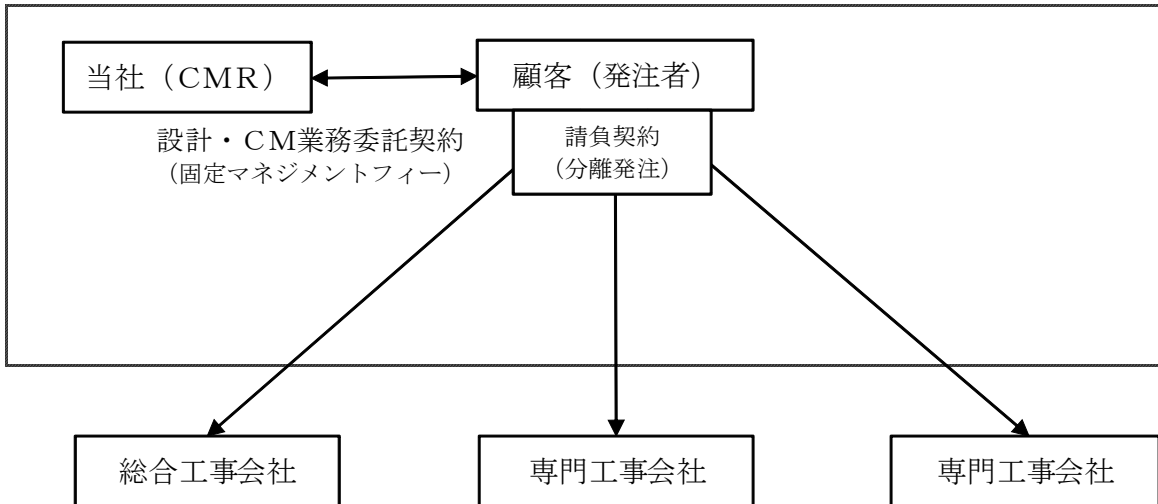
平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間につきましては、引き続き幅広い業種からの引き合いが増加いたしました。

一部の案件について第 3 四半期以降に売上計上時期が期ズレしたことによって、第 2 四半期累計期間における出来高は当初予想を下回り、売上総利益及び営業利益は当初予想より減少する見込みとなりました。一方、この出来高の内、フィーのみを売上計上するピュアCM方式<図 1>より、工事原価を含めて売上計上するアットリスクCM方式<図 2>の売上構成比が当初予想より高くなったことから、売上高は当初予想より増加する見込みとなりました。

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間に予定していた営業外費用につきましては、平成 25 年 3 月期第 4 四半期へ一部期ズレしたことから、第 2 四半期累計期間中の営業外費用が減少し、経常利益は当初予想より 23 百万円、当期純利益は当初予想より 13 百万円増加する見込みとなりました。

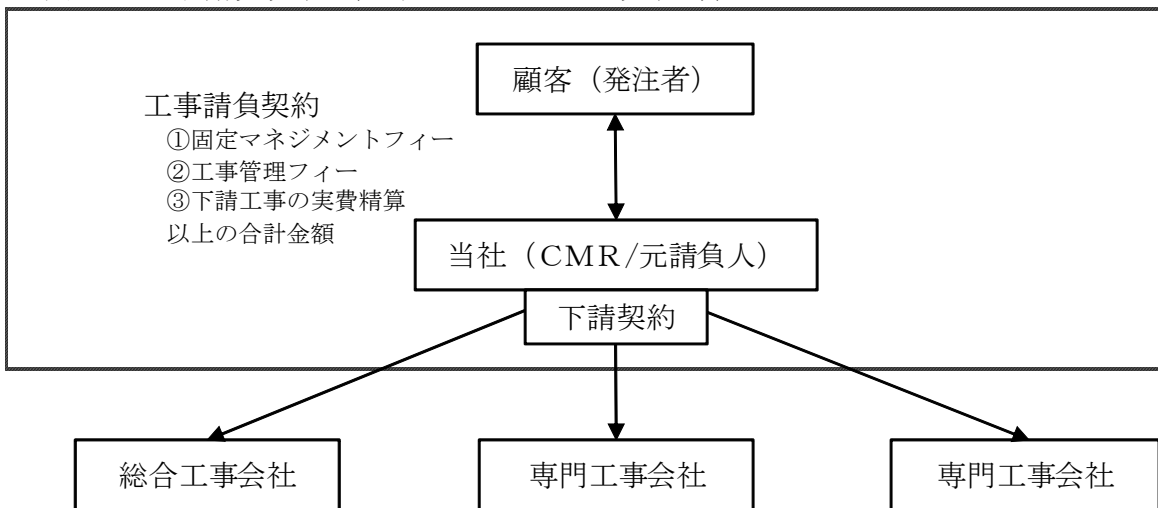
平成 25 年 3 月期通期業績予想につきましては、現時点では当初予想通りに推移する見込みであり、変更はありません。

<図1> 業務委託契約（ピュアCM契約）



(注) 当社はマネジメントフィーのみを売上計上する。

<図2> 工事請負契約（アットリスクCM契約等）



(注) 当社は完成工事高（マネジメントフィーを含む）を売上計上し、その原価として顧客（発注者）へ開示した下請工事会社との請負金額を売上原価に計上する。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上